製図法演習①②／プロダクト製図①②				
安森 弘昌	演習	1年次	後期	2単位
	選択			
	※P生限定			

■授業目的・方針

プロダクトデザインを学ぶ際に必要なスキルとしての、立体感覚をともなったドローイングや、伝えることを重視した作図の基礎を身につける。

■到達目標

製図の基本的事項と作図法を理解し、図面による正確な立体表現を習得する。

■授業内容

1：授業の目的および内容の説明
2：道具の使い方・線の種類・寸法記入などの解説と実習
3：空間の表現方法の解説と実習
4：投影法の解説、アイソメトリック図から三面図を作成
5：アイソメトリック図法の解説と簡単な作図
6：三面図からアイソメトリック図を作成（単純形体）
7：三面図からアイソメトリック図を作成（製品の外観形体）
8：立体と作図1：プロダクト製品の構造の理解と計測
9：立体と作図2：計測から三面図（部品図）を作成（単純形体）
10：立体と作図3：計測から三面図（部品図）を作成（製品の外観形体）
11：立体と作図5：計測から三面図（組立図）を作成（単純形体）
12：立体と作図6：計測から三面図（組立図）を作成（複合形体）
13：立体と作図7：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成（単純形体）
14：立体と作図8：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成（複合形体）
15：立体と作図9：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成（製品の外観形体）とまとめ

■準備学習

プロダクト製品の取扱説明書に掲載されているテクニカルイラストレーションに普段から関心を持っておくことが望ましい。

■評価方法

第1～8回の作図課題および第8回以降に作成する三面図と組み立て指示図の提出状況と内容を総合評価する。内容評価については、製図の基本的事項と作図法の理解度、図面による正確な立体表現の可否を基準とする。

■参考テキスト

『基礎製図』大西　清著

■各自準備物

A3トレーシングペーパー、製図道具一式、カッターナイフ、カッティングマット